

科目名	インターンシップ2						年度	2025	
英語科目名	Internship 2						学期	通年	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 2年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	石川和希	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スポーツアパレルメーカー		
【科目の目的】 今後の就職活動を見据え、スポーツ関連企業でのインターンシップやボランティア活動に参加することにより、実務経験を獲得するとともに企業側からのフィードバックを受入れながら自己改善につなげることを目的とする。									
【科目の概要】 スポーツ関連企業でのインターンシップやボランティア活動に参加することにより、業界の動向や基礎知識の理解を深める。実際に業界や職場の文化や価値観を理解することで、自身の興味や適性を見極めながら、業界関係者とのネットワーキングやキャリアの方向性を検討を行う。									
【到達目標】 到達目標 A: 教科書や授業で学んだ知識を実践的な業務に応用することで実務経験を身に付ける。 到達目標 B: 自身の強みや成長の余地を見つけると同時に職場からのフィードバックを受入れ、成長を促進するための積極的な態度を持つ。 到達目標 C: 業界や職場の文化や価値観を理解することで、自身の興味や適性を確認しながらキャリア方向性の検討を行う。									
【授業の注意点】 既定時間数の研修・セミナーに参加していない者は単位を取得できない。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないよう注意する。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得は認められない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	教科書や授業で学んだ知識を実践的な業務に繋げて、具体的なプロジェクトやタスクに取り組むことが出来た。		教科書や授業で学んだ知識を実践的な業務に繋げることが出来た。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 B	研修参加を通して自身の強みや成長の余地を見つけると同時に職場からのフィードバックを受入れ、実務面において成果を残すことが出来た。		研修参加を通して、自身の強みや成長の余地を見つけることが出来た。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 C	業界や職場の文化や価値観を理解しながら、自身の興味や適性を確認しながらキャリア方向性を検討することが出来た。		業界や職場の文化や価値観を理解することで自身の興味や適性を確認することが出来た。		到達目標の達成度として不十分				
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、レポートによる参加報告結果30%、企業側からの参加評価30%、参加終了後のクラスフィードバック20%、参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）20%とし、学習目標の達成度・到達度を総合的に判断して行う。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となる。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		インターンシップ2			年度	2025			
英語表記		Internship 2			学期	通年			
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価			
1	オリエンテーション	オリエンテーション	1 授業内容の説明 2 業界内の動向 3 社会人基礎力の理解	業界内における就職活動のトレンドを把握し、スポーツ業界に求められる役割と能力について理解する。	2				
2	学内研修	学内での事前研修	1 授業内容の説明 2 業界内の動向 3 社会人基礎力の理解	グループワークを中心とした各種研修を学内で事前に行い、スポーツビジネスに関連する社会人基礎力を高める。	2				
3			1 授業内容の説明 2 業界内の動向 3 社会人基礎力の理解		2				
4			1 授業内容の説明 2 業界内の動向 3 社会人基礎力の理解		2				
5			学内外研修		学内外での研修	1 学外研修	スポーツ関連企業の採用担当者の下で実施される採用研修を受けることで、スポーツ業界で働く人材として必要な能力を高める。	2	
6								2	
7								2	
8								2	
9	2								
10	2								
11	2								
12	2								
13	1 研修の振り返りと改善策の選定	研修参加を振り返りから課題を見出し、今後の改善策と社会人基礎力の向上を目指す。		2					
14				2					
8	まとめ	研修体験談の共有	1 研修体験の共有	研修参加について他者の感想も含めた研修体験の共有を通して、今後の改善策と社会人基礎力の向上を目指す。	2				

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等